

優秀賞

置かれた場所で咲くこと

福岡女学院大学 4年 廣瀬 茉莉子

人生における「失敗」には、様々な種類が存在している。相手に迷惑をかけてしまう失敗、自分を成長させてくれる失敗など。

例えば、「お誕生日サプライズをしようとしたがバレてしまった」「相手の気持ちを考えずに自分の思っていることをズバツと言ってしまう、傷つけてしまった」このようなこと以外にも数え切れないほどの失敗を経験してきた。

今年、私は就職活動をしていた。とある会社の面接で、「失敗した経験はありますか。」と聞かれたことがある。

失敗とは何なのか。

私は生まれてから、まだ二十二年しか経っていないが、様々な失敗を繰り返しては後悔し、落ち込み、悔やんだ。その中で私が一番失敗した出来事は、大学受験だ。高校の先生から「絶対に合格する」と言われていただけに、悔しさがとても大きかった。不合格だったことを先生に伝えると、先生は無言になってしまった。私はこれからどうすれば良いのだろうか。頭が真っ白になった。その後は図書館に一人でこもり、朝から夜まで勉強する日々が続いた。受験勉強の真っ只中、高校創立八十周年を記念して、渡辺和子さんの講演会が行われた。

「置かれた場所で咲きなさい」

渡辺和子さんのこの言葉との出会いで、私の考え方は大きく変化した。当時の私は、「失敗なんてするものじゃない。失敗を避ける為にはどうすれば良いのか」とばかり考えていた。しかし、「あんな失敗もしたけど、今となっては笑い話だ」「あの失敗があつたから今の自分がある」と、時間が経過すると何故か失敗はプラスに作用するといふ不思議な現象が起こる。

大学受験失敗から早四年。今は失敗を恐れず多くのことに挑戦し、実りある大学生活を送っている。今までの失敗から学んだことを糧に置かれた場所で綺麗な花を咲かせたい。